

第46回全日本登山体育大会

山口大会 開催要項

「おいでませ 3億年の夢眠る草原へ」

期 日 平成19年10月19日(金)～21日(日)
会 場 山口市、秋芳町、美東町・秋吉台国定公園



主 催 (社) 日本山岳協会

主 管 山口県山岳連盟

後 援 文部科学省、(財) 日本体育協会
山口県、山口県教育委員会、(財) 山口県体育協会
山口市、秋芳町、美東町、

目 次

・ おいでませ！ 西の京山口へ	1
・ 第46回全日本登山体育大会開催要項	2 ～ 3
・ 事務連絡事項	4
・ 登山のコース概要	5 ～ 8
・ 登山コース地図	9 ～ 12
・ オプションツアー案内	13
・ 開催会場の案内図	14

添付：第46回全日本登山体育大会参加申込書

おいでませ！ 西の京山口へ



山口県山岳連盟会長 小笠原 治

第46回全日本登山体育大会が、はじめて我が山口県で開催されることになり、天下の名勝秋吉台に全国の岳友をお迎えしたく、着々と準備をしております。

昨年の秋、福島大会の閉会式での聖杖引き継ぎの際、簡単にご説明しましたように、山口県にはこれまでの開催県のように、全国の岳友に胸を張ってご案内できるような大きな山並みがありません。広島と島根の県境近くに座する寂地山1337mを最高に周辺に千メートルを越える山が八座にとどまるという全国屈指の“山の ない県”といえます。この八座を活用した大会を計画したいとも考えましたが、開会行事や輸送の面から、とても実施できないという結論に至ったものです。

昭和38年第18回国体の山岳競技は、まだ正式種目ではありませんでしたが「秋吉台とその周辺の山々」として実施し、山岳競技としては初めて昭和天皇両陛下の天覧に浴し、大いに面目をほどこしました。その折の成功に気を良くし高体連の中国登山大会をこの秋吉台で何度か引き受けた場所でもございます。

この秋吉台とその地下に延びる秋芳洞は、すでに観光地として広く内外に知られておりますが、今回の大会では秋吉台上を巡りそしてラムサール条約に地下水系として登録された洞窟群の一部、秋芳洞を歩いていただくコースを設定いたしました。なかでもDコースは山の高度の足りなさを補うわけではありませんが、秋芳洞の未公開ルートを洞窟探検調査（ケイビング）するコースを設けております。

おいでませ！ 山口県が世界に誇る3億年の夢眠るカルスト台地と鍾乳洞をご案内いたします。そして皆様が十分に堪能してくださることを願っております。

大会のベースとなる山口市は中世、大内氏が数代にわたって京都の雅な文化を持ち帰り、小規模ながら西の京といわれる文化都市を築いた地です。この機会に是非、西の下関市、北の萩市、東の岩国市など明治維新にかかわった街々にも寄っていただければ、山口県をより理解していただけることでしょう。おいでませ！ 西の京山口へ。

第46回全日本登山体育大会 山口大会開催要項

『おいでませ 3億年の夢眠る草原へ』

○目的

全国の岳人が集い、秋吉台の自然にふれあい仲間と共に登山することにより、登山技術の向上と相互の親睦、交流を図ることを目的とする。

また、自然保護精神の高揚を図り、日本の美しい自然を未来へ継承することを誓うものである。

1. 開催期日 平成19年10月19日（金）～21日（日）
2. 開催場所 山口県 山口市・秋芳町・美東町（秋吉台と秋芳洞）
3. 主催 （社）日本山岳協会
4. 主管 山口県山岳連盟
5. 後援 文部科学省、（財）日本体育協会、山口県、山口県教育委員会、（財）山口県体育協会、山口市、秋芳町、美東町、

6. 日程

第1日目 10月19日（金）

- 12:30 受付開始（山口市湯田温泉：ホテルかめ福）
- 14:30 開会式（ホテルかめ福）
- 15:30 秋吉台の自然に関する講演（秋吉台科学博物館館長：配川 武彦 先生）
- 17:00 オリエンテーションおよび諸連絡
- 18:30 夕食（食事宿泊共、ホテルかめ福）

第2日目 10月20日（土）

- 7:30 宿舎出発（出発時間はコースによって少し異なります）
- 16:00 登山終了後、宿舎に移動
- 18:30 後夜祭（ホテルかめ福）
- 20:30 後夜祭終了

第3日目 10月21日（日）

- 9:00 閉会式（ホテルかめ福）
- 10:00 解散（希望者はオプション観光に出発）

7. 登山コース（4コース設定）

Aコース（60名）

秋吉台家族旅行村～西の西山～御鉢山～龍護峰～秋吉台家族旅行村～秋芳洞

Bコース（80名）

長者ヶ森～北山～地獄台～良悟松～若竹山～剣山～西の西山～龍護峰～秋吉台家族旅行村～秋芳洞

Cコース（100名）

大正洞駐車場～真名ヶ岳～帰水～長者ヶ森～北山～地獄台～良悟松～若竹山～剣山～西の西山～龍護峰～秋吉台家族旅行村～秋芳洞

Dコース（60名・健脚コース：ヘルメット、ヘッドランプ等の装備が必要）

長者ヶ森～北山～地獄台～良悟松～若竹山～剣山～西の西山～龍護峰～秋吉台家族旅行村～秋芳洞（ケイビング体験）

★募集人数 300名程度

★各コースには、山口県山岳連盟会員が配置されます（行動役員、無線班を配置）。

8. 開会式、閉会式、宿泊地『ホテルかめ福』

所在地：〒753-0056 山口市湯田温泉4-5

電話番号：083-922-7000

ホームページ：「<http://www.kamefuku.com/>」または「ホテルかめ福」で検索して下さい。

9. 参加資格

- (1) 都道府県山岳連盟（協会）より推選を受けた者
- (2) (社) 日本山岳協会の役員、参与及び賛助会員
- (3) 地域の登山普及を図るため、特に認めた者

10. 参加申込み

- (1) ① 参加者は、別添「参加申込書」に必要事項を記入し、記載責任者捺印の上、「参加費振込の控え」又はコピーを添えて、下記の申込み先（トップツアー）に送付して下さい。
② 記載責任者は、「参加申込書」のコピーを所属山岳連盟（協会）に提出して下さい。
- (2) 参加費の納入先
指定金融機関：三菱東京UFJ銀行 徳山支店
口座番号：普通預金 4059687
口座名義：「トップツアー株式会社 徳山支店」（電話番号 0834-31-3955）

※お振込の際のご注意

- ・振込手数料は参加者負担とさせていただきますのでご了承願います。
- ・現金10万円以下の場合は各金融機関のATMにて振込可能です。
- ・現金10万円を越える場合はATMでの振込みはできないこととなりました。金融機関窓口での振込手続となります。但し、本人確認が可能な運転免許証、パスポート、又は健康保険証等の証明書が必要となりますので、ご利用金融機関にご確認ください。
- ・現金ではなく、キャッシュカードにて振込まれる場合は10万円を超えても振込みは可能です。但し、振込限度額が金融機関により設定されていますので、ご利用金融機関にてご確認ください。
- ・事前にご利用金融機関にて確認されることをお勧めいたします。
- ・現金書留での支払いも可能です。
〒745-0036 周南市本町1-11 「トップツアー株式会社 徳山支店 全日登山大会 御中」と明記の上、ご送金下さい。

(3) 申込期間

平成19年7月2日（月）～ 8月31日（金）

(4) 参加費 30,000円

宿泊費、食費（大会中の全食事）、輸送費、保険料を含む。

(5) 参加費の返却について

特別の事情により大会への参加が不可能になった場合、次の取り扱いをします。なお、返金精算は大会終了後となります。

A：参加費納入後、平成19年8月31日（金）までに参加の取り消し通知があった場合は、参加費の90%を返却します。

B：参加費納入後、平成19年9月18日（火）までに参加の取り消し通知があった場合は、参加費の50%を返却します。

C：前記A・B以外の不参加については、参加費の返却は致しません。

事務連絡事項

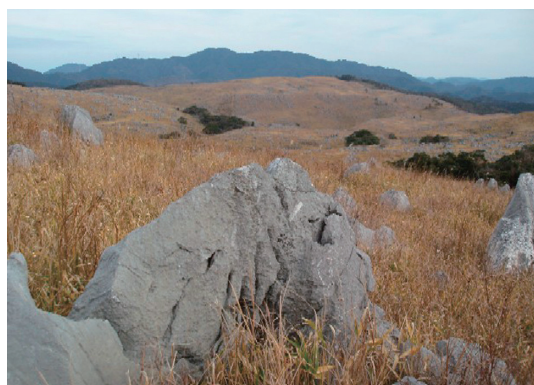
- (1) 宿泊室、コース案内等については大会受付時に「名札」配布と共にご案内します。
- (2) 参加者は、受付で配布された名札をザックに取り付けて下さい。
- (3) 大会並びに山域等に関わる問い合わせ先
 - ★大会事務局：〒755-0011 宇部市昭和町3-2-15 古林喜明（こばやし）
携帯電話 090-5692-4109（但し、平日は18時以降にお願い致します）
山口県山岳連盟ホームページ「<http://www.alpineclub.jp/index.html>」
 - ★岳連（協会）旗について
都道府県の代表者は、岳連（協会）旗一流を、平成19年10月15日（月）までに、上記の大会事務局へ送付して下さい。
- (4) ① 参加者は、「日本山岳協会山岳共済」に加入していることが望ましい。
② 参加者は各自で、飲み物・行動食・非常食を準備して下さい。
③ 登山日の10月20日の昼食は弁当を支給します。
④ 参考地図（国土地理院・2万5千分の1／「秋吉台」「秋吉台北部」）
⑤ 登山行動中は、熱中症・害虫・蜂・雷等に注意して下さい。
各コースとも登山口にトイレがあります。
また、各コースとも、コース途中で水場はありません（大正洞駐車場のみ飲用可）。
- (5) 交通のご案内
 - *会場の「ホテルかめ福」へは、
 - ①【新幹線利用】の場合
新山口駅からJR山口線を利用（約30分ごと）し、湯田温泉駅で下車、徒歩15分。
新山口駅からタクシーで20分。また、駅北側の在来線側から防長バス（約20分ごと）があり、約30分で湯田温泉へ着きます。湯田温泉バス停から会場まで徒歩3分。
 - ②【飛行機利用】の場合
山口宇部空港から航空便に併せた宇部市営の路線バスで新山口駅まで40分。新山口駅からは①に同じ。なお、空港から予約制の相乗り大隅タクシー（TEL 0120-31-0860）があります。
 - ③【マイカー利用】の場合
中国自動車道「小郡IC」から約10分。「山口IC」から約20分です。
（駐車場手配のため参加申込書の交通手段欄に記載をお願いします）

※大会会場の位置は巻末の案内地図を参照してください。
- (6) 前泊・後泊の希望者は、トップツアー（株）徳山支店へお問い合わせ下さい。
（平日9:20～17:20 土曜日9:20～12:00 日曜・祝日休業）
〒745-0036 周南市本町1-11
トップツアー（株）徳山支店 担当／宮野一正
電話番号 0834-31-3955
FAX番号 0834-22-1047
- (7) 大会終了後のオプション観光（13P参照）のお問い合わせはトップツアー（株）徳山支店の担当：宮野へご照会下さい。オプション観光代金は7,800円です。大会参加費と併せてお振り込み下さい。
なお、オプション観光に参加の場合は必ず大会申込書の「観光」の欄に○印を記入して下さい。

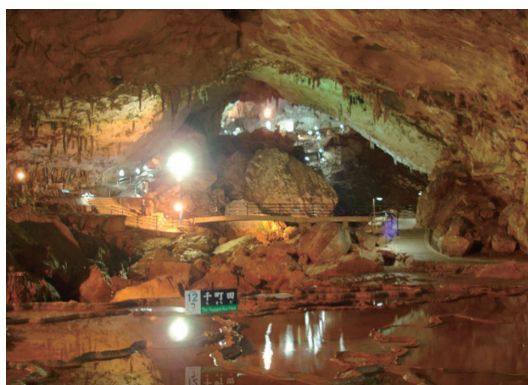
登山コースの概要

『おいでませ 3億年の夢眠る草原へ』。西の京 山口へ。第46回山口大会の拠点となる国定公園秋吉台。そして、ラムサール条約で登録された地下水系、特別天然記念物の秋芳洞へ。・・・そこは、今から3億年前にできた珊瑚礁がそのまま岩になったという神秘の地。見渡す限りに広がるカルスト台地。その下は迷路のように存在する洞窟群。暗闇の中で、成長した鍾乳石と進化した生物たち・・・。

このススキとササの秋吉台草原を太古に思いを馳せながら歩いてみませんか。そして洞窟の水の流れを聞きながら探索してみませんか。『おいでませ！』山口大会へ。



「秋吉台」



「秋芳洞」

(A) 家族旅行村～龍護峰～西の西山～秋芳洞コース

(1) コースと実働時間

湯田温泉＝（秋吉台道路経由）＝秋吉台エコミュージアム＝（秋吉台道路経由）＝家族旅行村
登山口～西の西山～御鉢山～龍護峰山頂（昼食）～家族旅行村＝秋芳洞＝湯田温泉

（実働累計 4：00）

(2) コース概要

大正洞入口にある秋吉台エコ・ミュージアムでカルスト台地について前知識を入れ、再びバスで秋吉台の草原を縦断し、登山口の秋吉台家族旅行村に行きます。

コース最初の山、西の西山（標高398.9m）へは家族旅行村から自然林と草原風景や植物を楽しみながらマイペースで歩くことができ、約1時間で山頂に着きます。危険な所もなく展望の良さから人気のある山です。

西の西山山頂からはなだらかなうねりを持って広がる秋吉台の草原が一望でき、抜群の展望と秋吉台の草原歩きが楽しい山です。この草原に、以前は町民から預かった牛を春から秋までの間放牧していましたが、今は牧草の刈り取りのみ続けられています。すぐ北側には森と草原の境界（火道）があり、火道は毎年2月に行われる山焼きのために刈り取られる防火帯です。

景色を楽しんでから来た道を少し戻り、御鉢山を越えて龍護峰へ向かいます。御鉢山は石灰岩が溶け残ったためにできた丸い山で、円頂山丘です。御鉢山から望む秋吉台は、うねる緑の草原に白い石灰岩が映え、その景色は、秋吉台の良さを満喫できます。途中の採石場跡は、かつて国会議事堂の大理石も採掘された跡です。御鉢山から20分で龍護峰（標高425m）へ。広いのどかな、ススキの多い道です。龍護峰は秋吉台における最高峰で展望が良く、北は桂木山、東は岩崎元郎さんの新日本百名山に選ばれた山口市の東鳳翻山などが望めます。西の削られた山は石灰岩の採石場で、国定公園や特別天然記念物の指定がなされていない西秋吉台には、このような大規模な採

石場が数カ所あります。

秋吉台の台上には河川は1本も流れていません。では、台上に降った雨水はどこへ流れるのでしょうか。降った雨はドリーネという凹地から地下に導かれ、地下水となり鍾乳洞を形成し、たくさんの川が流れて地下水系を形成しています。この秋吉台地下水系は平成17年にラムサール条約に登録され国際的にも貴重な自然として保護されています。下山は、秋吉台家族旅行村へ。そして、この付近の地下約120mのところにある秋芳洞に黒谷支洞から入洞します。足元に注意し、ガイドの案内に従って歩きましょう。

(このコースは時間に余裕が生じた場合、国宝・瑠璃光寺五重の塔の観光を加えます)

(B) 長者ヶ森～秋吉台縦走～秋芳洞コース

(1) コースと実働時間

湯田温泉＝長者ヶ森～北山～地獄台～良悟松～若竹山（昼食）～剣山～西の西山～龍護峰～
家族旅行村＝秋芳洞＝湯田温泉 (実働累計 : 30)

(2) コース概要

長者ヶ森駐車場から出発。長者ヶ森は草原の中の原始林と言えるような場所です。山焼きや牧畜などにより手を加えられ続けた秋吉台において、原始の植生を探る数少ない場所です。『秋吉台の自然観察』本には「この森は私たちの祖先が秋吉台の自然に手を加える際、とてもしゃれたことをして残してくれた貴重な原生林です。もともと、人間が森林で覆われた秋吉台に火を入れて、草原を作ったのですがその際、森の一部を神の宿る場所として、自然のままに残したのです。だから長者ヶ森は、秋吉台の原植生を知る上でとても貴重な場所です。今日でも山焼きの際には、この森の周辺の草を刈って、火が森に入らないようにしています。」と記述されています。秋吉台周辺の自然植生が観察される地域は、いずれも人間による有効な山林利用がなされにくい場所ばかりです。

長者ヶ森から北山、そして冠山へ。山頂から眺める北側方面は桂木山の稜線とたくさんの石灰岩柱が一面にちりばめられた地獄台。石灰岩の白と草原の緑のコントラストがもっとも秋吉台らしい景観を造っています。南側はこれから縦断する草原台地が龍護峰へと繋がっています。

この秋吉台は、東西に約16km、南北に8km、総面積130平方キロメートルにおよぶ、日本を代表するカルスト台地で、秋芳洞とともに国の特別天然記念物・秋吉台国定公園に指定されています。草原はネザサ、ススキ、チガヤなどイネ科の植物が中心で、春はワラビ狩りが楽しめ、秋にはハギ、リンドウ、センブリ、アキヨシアザミなどの草花で賑わいます。

地獄台から中国自然歩道へ。この道は昔、長門と山口を結ぶ街道でした。この秋吉台上で道に迷う人が多かったため江戸時代に良悟禅師により松が植えられましたが、松食い虫の被害により枯れてしまいました。

なだらかな草原を歩き若竹山へ。若竹山は、現在の天皇が皇太子であった昭和24年にこの地を訪れたとき、若竹山と命名されました。若竹山は丸い円頂状の残丘で、カルスト地形特有の形です。毎年3月に行われる夜の山焼きは、この若竹山です。

若竹山から剣山の「平和と観光の塔」を目指し、そして鬼穴ドリーネの横を通り西の西山（399m）へ登る。この山頂から、縦走して来た秋吉台のうねる草原を振り返るとその景色は素晴らしく、安らぎを覚え山頂を去りがたくなる。

……以下、西の西山から先はAコースに同じです。……

(C) 大正洞～秋吉台縦走～秋芳洞コース

(1) コースと実働時間

湯田温泉＝大正洞登山口～真名ヶ岳～帰水～長者ヶ森～北山～地獄台～良悟松～若竹山（昼食）
～剣山～家族旅行村～西の西山～龍護峰～家族旅行村＝秋芳洞＝湯田温泉

（実働累計 8：00）

(2) コース概要

大正洞エコ・ミュージアムから遊歩道を真名ヶ岳（大正岳）に登る。鬱蒼とした竹と杉林の道は階段状でややきついですが、林道に出て少し進むと開けた草原状の台地となっている真名ヶ岳へ着く。前方面面に地獄台の景観を楽しみながら歩く緩やかなコースです。少し下って帰水へ。

本来、川の無いはずのカルスト台地ですが秋吉台には一カ所だけ水の流れている場所があります。それが「帰水」。帰水周辺は巨大なウバーレ地形となっていて、地表面の浸食・溶食が進み地下洞の水面にまで達したため、地下水がこの場所だけ顔を出しているのです。帰水は水量も少ないがすぐにまた地下へ潜り、潜った地下水は西側の青景集落のポリエで湧き出ています。ドリーネの耕作地を見ながら緩やかな上り坂を登り詰めると秋吉台道路の長者ヶ森駐車場へ出ます。そして広い秋吉台の縦断はまず、長者ヶ森から……。以下、Bコースに同じです。

(D) 長者ヶ森～秋吉台縦走～秋芳洞最深部ケイビングコース（健脚コース）

(1) コースと実働時間

湯田＝長者ヶ森～北山～地獄台～良悟松～若竹山～剣山～西の西山～龍護峰～家族旅行村～
秋芳洞ケイビング＝湯田温泉

（実働累計 8：00）

(2) コース概要

長者ヶ森駐車場から出発します。まず、長者ヶ森へ向かう。以下、ケイビング以外はBコースに同じ。

このケイビング（洞窟探検調査）は、秋芳洞エレベーターの所から一般の方が入ることができない本洞の奥をヘルメット、ヘッドランプを装着し、ウェットスーツ、酸素ボンベなどを着けずに行ける最深部の水源「琴ヶ淵」までの約800mを往復します。このケイビングでは須弥山を越えていくときの下りでスリップ、落石に注意が必要です。ケイビング終了後は一般観光洞を経てバスセンターへ向かいます。

なお、この本洞につながる支洞は数々の探検隊によって探検・発見が繰り返され、平成4年に第7新洞が発見されており、秋芳洞の総延長は8.7kmに達しています。

「秋芳洞 ケイビング体験」（真っ暗の中ヘッドランプの明かりを頼りに前進する）



- 今回の大会は、参加者の皆さんにこれを機会に是非、ラムサール条約地下水系で「洞窟探検調査」(ケイビング)を体験して頂きたいと計画しました。下記注意事項は必ず守っていただきます。

注1：Dコースに参加の方はヘルメット、ヘッドランプ、軍手、合羽、タオル、できれば沢靴を持参して下さい。縦走終了後、秋芳洞入り口までバスで移動しますので、その時ザック等をバスに置きヘルメット等の装備を持ち出してください。洞の中へはナップザック程度でよい。洞内は風を感じないため意外と汗をかきます。

注2：大会前に大雨が降り増水した場合には洞窟探検は最深部「琴ヶ淵」まで行けません。途中までと致します。ご了承ください。

注3：ヘッドランプは明るいものがよく、安全のため両手は空けて下さい。

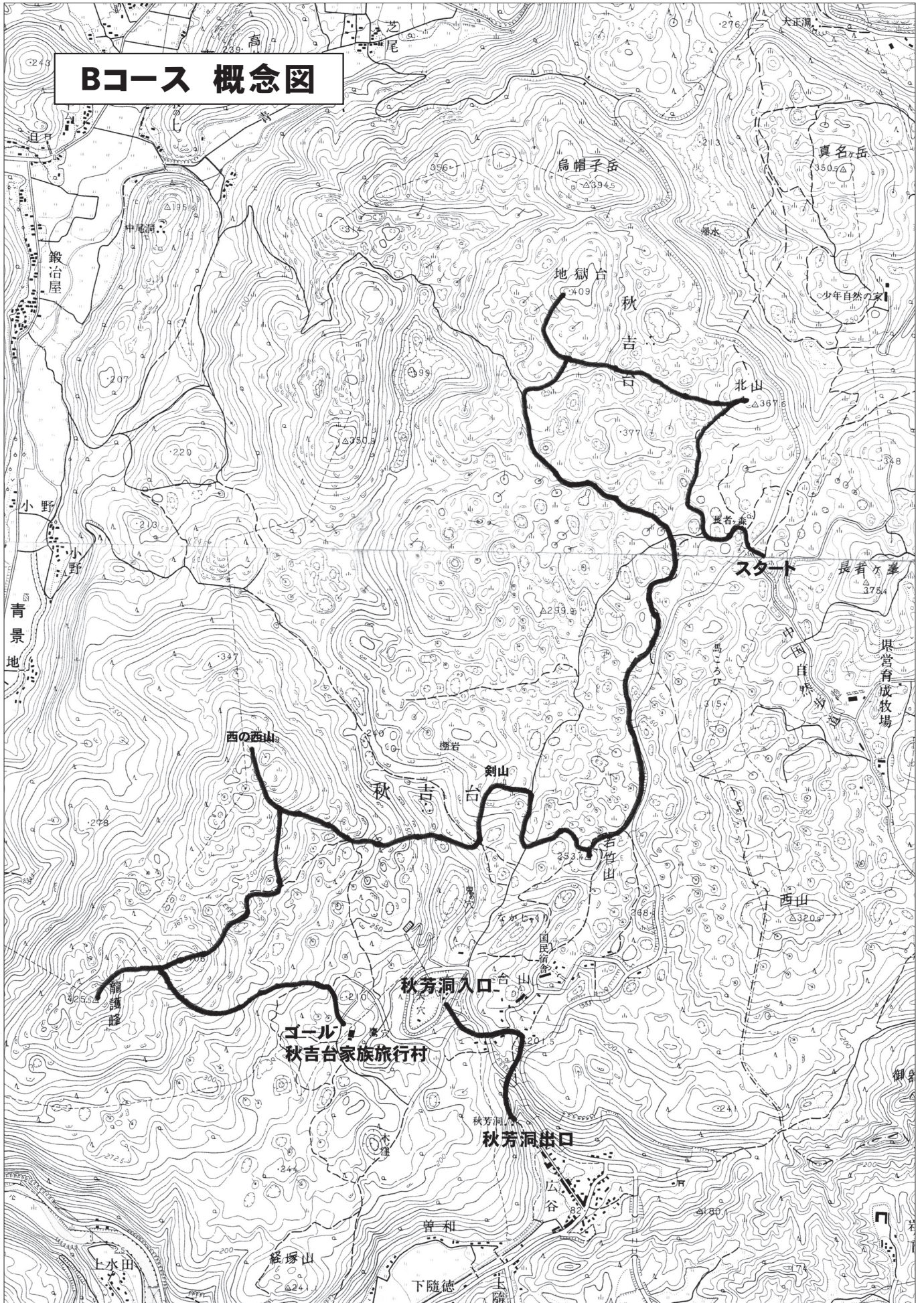
注4：洞の中で川を横断する所もあります。水量により靴の中が濡れることがあります。

注5：歩行中に落石を起こさないよう注意して下さい。また、急な下りでは滑りやすいので、細心の注意で歩行して下さい。

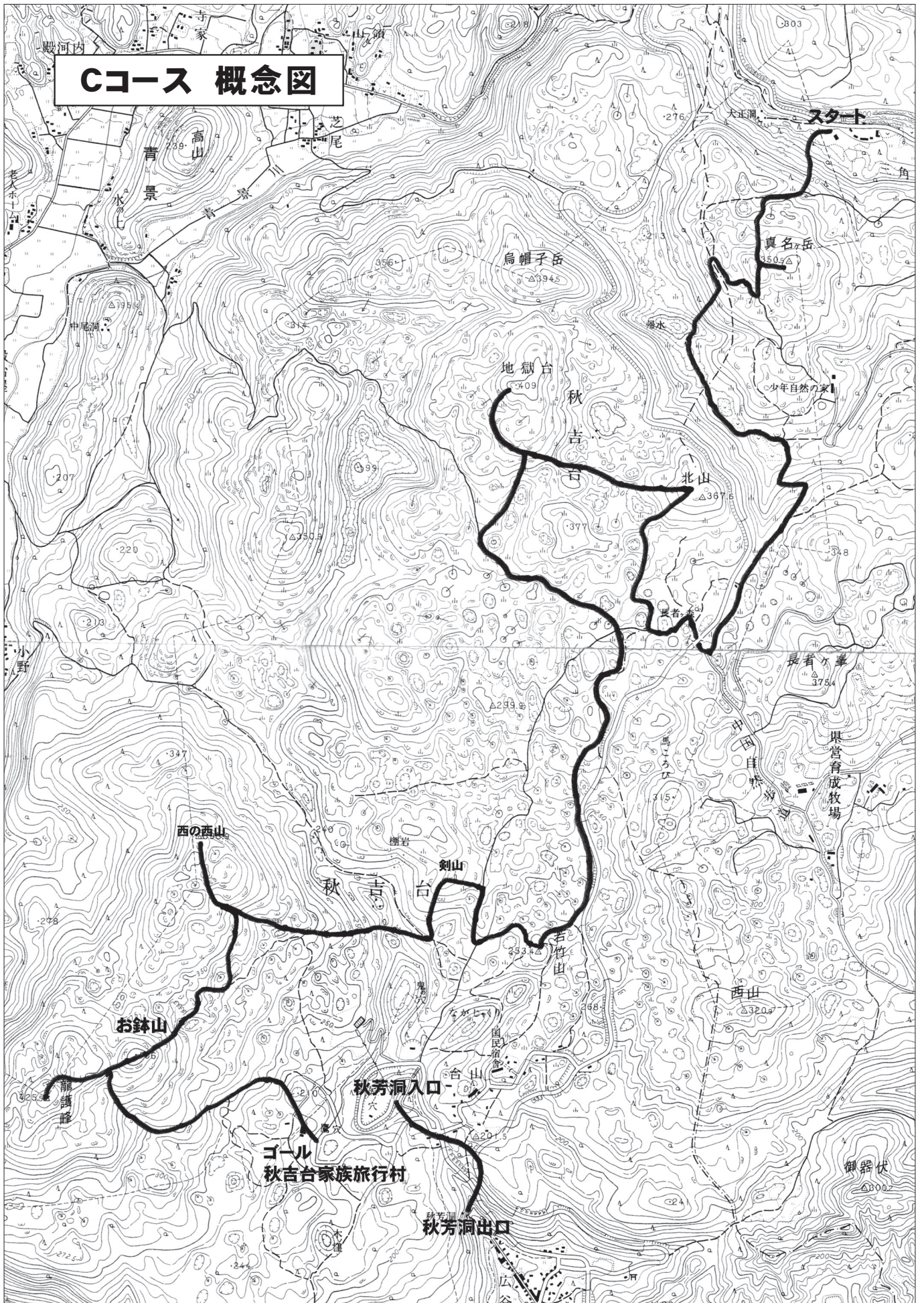
注6：このDコースはケイビング設定のため健脚コースとしました。定員になり次第締め切ります。

- 参考文献
- ・ 山口地学会「日曜の地学～山口の地質をめぐって～」
 - ・ 帰水会（山口大学洞窟研究会）「秋吉台の鍾乳洞～石灰洞の科学～」
 - ・ 地学団体研究会「地形と土壌」
 - ・ 秋吉台科学博物館「秋吉台の自然観察」
 - ・ 秋吉台エコツアーマップ

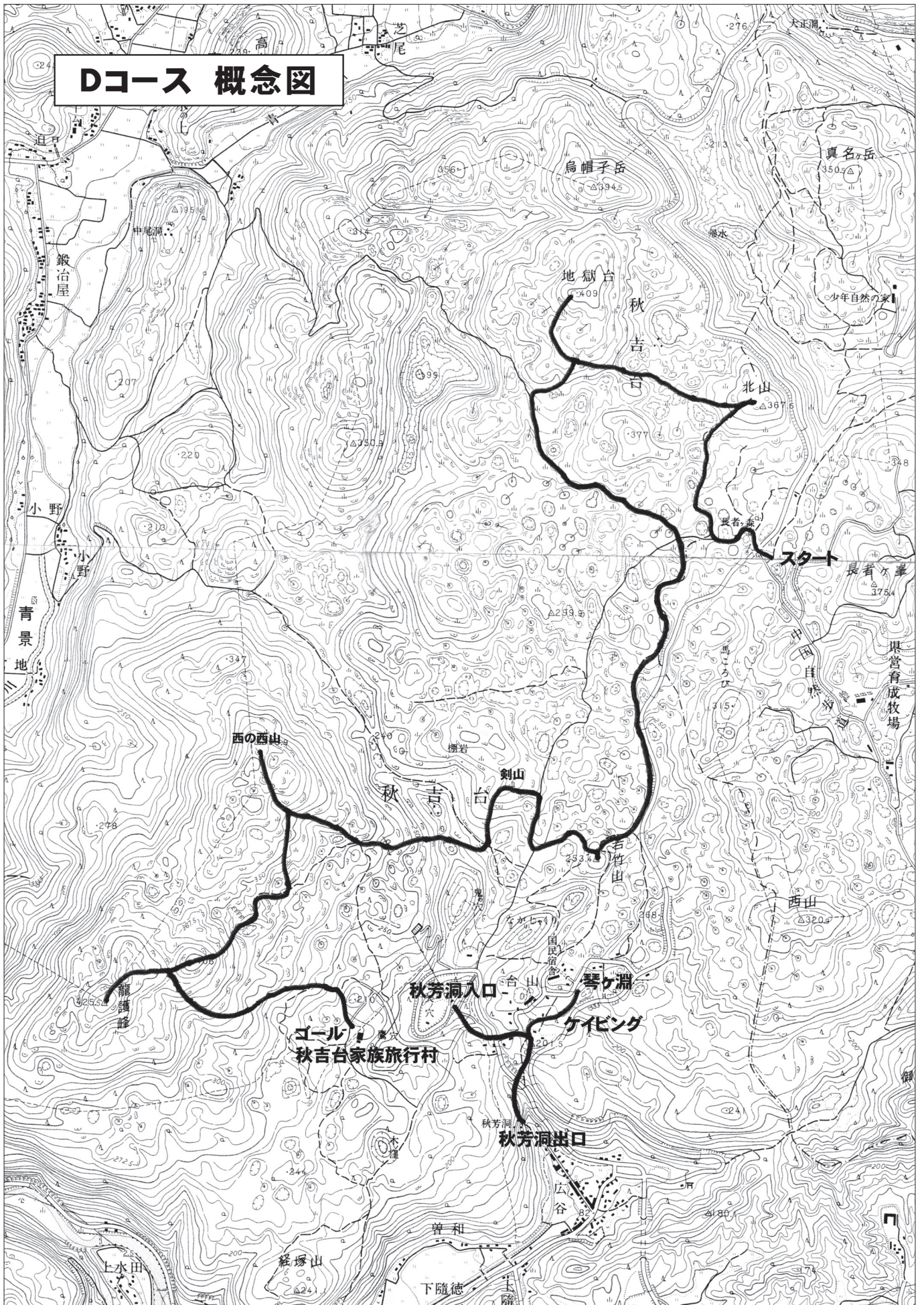
Bコース 概念図



コース 概念図



Dコース 概念図



第46回全日本登山体育大会・観光オプション

「維新のふるさと萩」名所めぐり

10/21(日)実施 募集人員40名 最少催行人員20名 大型バス利用 添乗員付
 旅行代金 7,800円(昼食・入場料等含まず)

行程

10:20 湯田温泉 — 11:30 萩指月城跡公園・萩焼窯元城山(昼食) — 13:00 13:15 松陰神社・松下村塾…



萩城は街の西北端にある指月山の麓にあるため、指月城と呼ばれている。毛利三十六万石の居城で、明治七年(1874)に城郭は破却され、現在は石垣と堀が残されている。また、昼食場所である萩焼窯元城山では萩焼が皆様をお待ちしております。



維新の祖「吉田松陰」が祀られた松陰神社。伊藤博文らを育てた松下村塾(写真上)も同じ敷地内にある。又、伊藤博文別宅等も徒歩数分のところに移築されている。

13:50 伊藤博文侯旧宅・別宅 — 13:55 14:30 東光寺 — 14:35 14:50 海産物ショッピング — 16:20 新山口駅



萩藩3代藩主・毛利吉就が建立した黄檗宗の名刹「東光寺」(写真左)。



※焼たての「チクワ」、蒲鉾等海産物をご賞味ください。

詳細の旅行内容・旅行条件は別途お渡しする旅行業約款によりますので必ずお読みください。
 旅行条件・旅行代金は平成19年4月1日現在を基準としています。

■お申込み方法について

別紙大会申込書「観光オプション欄」に○印を記していただき、大会参加費30,000円と旅行代金7,800円、合計額37,800円を所定口座にお振込みください。

■観光オプションの取消料について

旅行日前日(10月20日)から起算して10日目にあたる日から8日目	20%(1,560円)
旅行日前日(10月20日)から起算して7日目にあたる日から2日目	30%(2,340円)
旅行日前日(10月20日)	40%(3,120円)
旅行日当日(10月21日)	50%(3,900円)
旅行開始後または無連絡不参加	100%(7,800円)

※お取消しに伴うご返金につきましては大会中にさせていただきますのでご了承ください。

尚、大会に参加されない場合はご指定の口座等へ返金させていただきます。

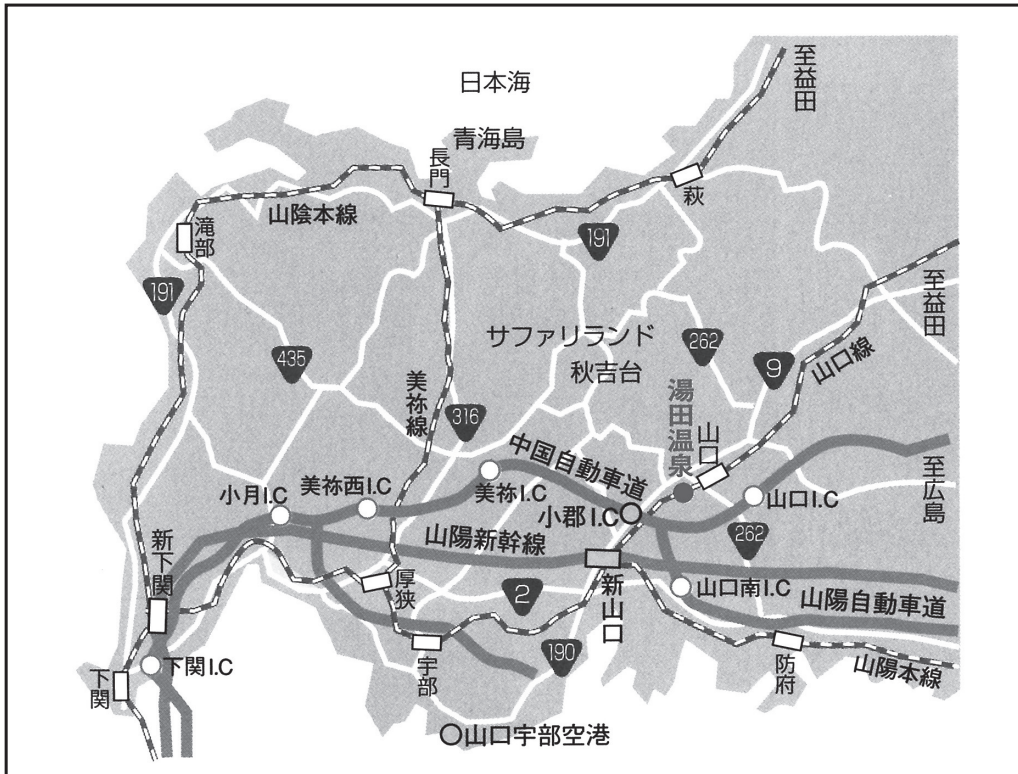
※第46回全日本登山体育大会山口大会の取消料は別途必要となります。

旅行企画・実施 国土交通大臣登録旅行業第38号

トップツアー(株)徳山支店 〒745-0036 山口県周南市本町1-11

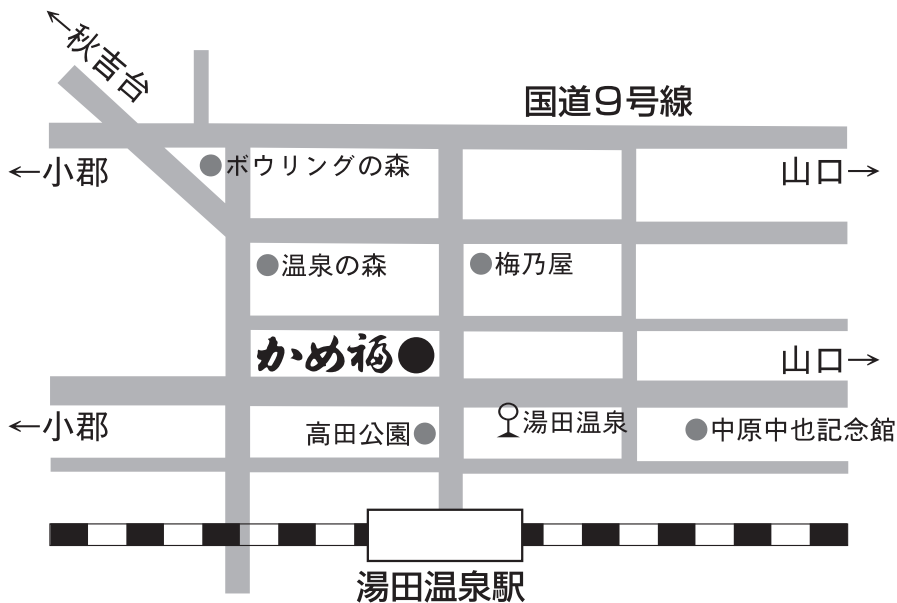
電話番号 0834-31-3955 総合旅行業務取扱管理者 吉次 博昭
 担当 宮野 一正

開催会場の案内図



ホテル **かめ福**

〒753-0056 山口市湯田温泉4丁目5番
 TEL 083-922-7000 FAX 083-922-7007
 U R L : <http://www.kamefuku.com>
 E-mail : info@kamefuku.com



第46回 全日本登山体育大会参加申込書

平成19年 月 日

第46回全日本登山体育大会
山口大会実行委員会 事務局

御中

記載責任者 (会名称及び氏名)

⑩

連絡先住所 〒

※送付先 〒745-0036 周南市本町1丁目11 トップツアー (株)

写しを所属山岳連盟 (協会) へ送付のこと

電話番号

FAX 番号

E-mail

下記のとおり第46回全日本登山体育大会に参加を申し込みます。

ふりがな	参加者氏名	〒	住所	TEL	性別	年齢	生年月日	所属団体	希望コース (注1)	交通手段 (注2)	OP観光 (注4)
		〒					T・S・H		1. 2.	JR・車・バス ・車同乗	
		〒									
		〒									
		〒									
		〒									

注1：希望コース1には第1希望、2には第2希望を、A～Dの記号で必ずご記入ください

Aコース…家族旅行村発 Bコース…長者ヶ森発 Cコース…大正洞発 Dコース…ケイピング探索

注2：交通手段は山口市に到着する最終の交通手段です。

注3：用紙不足の場合は、コピーをしてください。

注4：オプシヨンの旅行を希望する方はOP観光欄に○をご記入ください